



大学院改革の実施

大学院新専攻「総合アート専攻」2008年4月開設

本学では先端芸術学部の設置、デザイン学部ビジュアルデザイン学科の再編等、学部改革を行い、それに続くものとして大学院改革に取り組んでいます。その大学院改革の内容はつぎのとおりです。

- ①これまでの修業年限5年の「芸術工学専攻」を博士後期課程3年として独立させるとともに、積極的に海外からの留学生を誘致し、国際的な大学院として整備する。
- ②修士課程は総合化という基本線は守りながら専門性もより深めるため、総合デザインと総合アートの2専攻に分離し、入学定員を1.5倍に増やす。
- ③総合と専門のバランスがとれるよう、カリキュラムを一新する。
- ④学部から各学科の成績優秀者の推薦入学制度(各学科2名まで)を導入。
- ⑤就学期間の短縮を可能にする制度を設ける。

大学院の新しい専攻として、芸術工学研究科総合アート専攻の設置届出を文部科学省へ行い、正式に受理がなされ2008年4月に開設することが決定しました。

総合アート専攻では、ITやメディアを駆使した感性豊かな先端的芸術分野や、伝統に根ざした文化や芸術分野を背景に、高度なアートの専門知識と芸術の涵養を幅広く深く図り、卓越したアートの表現力・技術を備えた専門職人(総合的なアーティスト)の養成を目指します。



【芸術工学研究科】

芸術工学専攻	博士後期課程 入学定員: 6名
総合デザイン専攻	修士課程 入学定員: 18名
総合アート専攻	修士課程 入学定員: 9名

■クリエイティブセンター(仮称)新築工事等が始まる

大学の施設設備の拡充並びに芸術工学研究所の研究機能の強化を図るため、大学院棟(4号棟)とプロダクト・ファッションデザイン学科棟(6号棟)の間の空地にクリエイティブセンター(仮称)の建設が行われます。同センターは鉄筋コンクリート造2階建て、建築面積約800㎡で、1階に大型工作物も製作可能な工房が設けられるほか、2階にはプレゼンルームやプロジェクトルーム、芸術工学研究所などのスペースが予定されています。

去る7月25日(水)に関係者により起工式が挙行政され、クリエイティブセンター(仮称)の建設がスタートしました。竣工は来年2月末の予定です。



▲完成予定の模型

Contents

- 大学院改革の実施
- クリエイティブセンター(仮称)の新築
- 社会連携活動・在学生卒業生の活躍
- 健康だより・学校行事
- 国際交流&留学生情報
- 大学からのお知らせ
(後期の行事・大学祭情報 ほか)

■各学科棟・厚生館の改修も進行中

先端芸術学部開設による学生数の増大に伴う学生食堂の増築や、プロダクト、ファッション、環境・建築デザイン学科の施設・設備の改修工事や、デザイン教育センター(1号棟)内の教室改修もこの夏休み中に工事が行われており、9月25日の後期授業開始日にはあたらしい環境で授業を受けてもらえるよう進行中です。



▲起工式

在学生・卒業生の活躍／社会連携（産学連携）事業

本学卒業生運営 手作り雑貨屋「Candide」のはんこ 全国販売中

本学視覚情報デザイン学科2005年卒業 速水健一さんとプロダクトデザイン学科2006年卒業 井尻美歩さんが運営する手作り雑貨屋「Candide(カンディード)」。

このたび井尻さんデザインのキャラクターがはんことなり、雑貨卸の会社を通し大量生産され、全国の雑貨屋さんで販売されることになりました。

販売中のはんこは、全20種類。一点一点心をこめて制作されていて、どれもあたたかみのあるやさしい雰囲気のはんこばかりです。

購入に関するお問い合わせは下記まで。

■問い合わせ

Handmade Zakka「Candide」

電話：080-2480-0719

メール：zou_kotori@yahoo.co.jp

HP：http://www.hi-net.zaq.ne.jp/zou_kotori/



本学大学院生 内装デザイン 西脇「播州織工房館」がオープン!

本学大学院生で環境・建築デザイン学科川北健雄教授のゼミ生 岡本忠士さんが内装デザインを手がけた「播州織工房館」が6月30日(土)オープンしました。これは、西脇の旧織物工場を展示・販売スペースとして再生し、播州織のPRと市街地の活性化を目的とした建物です。約90年前に建てられた独特の「のこぎり屋根」を持つ織物工場跡を改修し、古い工場が持つ空間の力強さや文化的価値をうまく活かした空間に仕上がりました。

播州織工房館では、西脇市の特産品「播州織」を使った製品の販売や各種イベントを催すワークショップを開催中です。みなさん、ぜひご来場ください。

■営業日 金・土・日と祝祭日 11:00～18:00 (10～3月は11:00～17:00)

■場所 677-0015 西脇市西脇452-1
TEL (0795) 23-9119

■問い合わせ

西脇TMO

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇394-2 Tel/Fax. 0795-23-9119 E-mail. tmo@hesocci.or.jp

本学学生デザイン「キリンビール神戸工場10周年記念デザイン缶」販売開始!

キリンビール株式会社神戸統括支社が、キリンビール神戸工場10周年を記念して、「神戸工場10周年記念デザイン缶」を発売しました。

このデザイン缶のデザインコンペティションを2月に学内で開催し、集まった数多くの応募作品の中から、まず4名の学生の作品に絞り込みがなされました。最終の商品デザインを、4月～5月に一般の方々からの、はがきまたはインターネットの投票によるデザインコンテストにて決定。

総数9,348票の中から、4作品の中で最多の2,501票を獲得したビジュアルデザイン学科3年 片桐麻里絵さんの「美味と共に」が採用になりました。

デザインされた商品は新聞紙上等で発表され、「キリンラガー神戸工場10周年記念デザイン缶」(350ml缶)として、7月20日(金)より兵庫県全域で販売されています。



在学生・卒業生の活躍／社会連携（産学連携）事業

大田研究室デザイン「引き廻し鋸（のこぎり）Hipper」全国販売へ！



兵庫県三木市の工具メーカー玉鳥産業（ギョクチョウサンギョウ）株式会社、財団法人新産業創造研究機構（NIRO）、神戸芸術工科大学プロダクトデザイン学科（大田尚作教授研究室）の3者が協力し、「引き廻し鋸Hipper」を開発しました。これは玉鳥産業がNIROを介して商品開発の申し出があったもので、同社と本学が機能・パッケージ・カラーなどの検討を進め、NIRO が試作を繰り返し完成させました。引き廻し鋸は、刃が細く壁に穴を開けるために先端が細く、曲線切りができるのが特徴。Hipperは、従来品に比べ正確に素早く、筋肉疲労度も少なく、なめらかな曲線切り作業が行えるグリップ形状のデザインに仕上がりました。

6月21日（木）から全国の金物店やホームセンターで販売中です。また、店頭で流す販売促進用のプロモーションビデオも本学学生が制作しています。

こうした産官学の連携によって、効率的な設備活用によるコストの削減や開発時間の短縮、人的情報活用による製品の質的向上ができただけでなく、学生が社会との関わりを実際に経験できたことは、大きな成果となりました。

本学卒業生「シャチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション」でグランプリ

本学プロダクトデザイン学科卒業生 楠木一徳さんの作品が、『第8回シャチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション』において、「グランプリ」を受賞しました！

同コンペでの本学出身者のグランプリ受賞は、前回に続き2年連続の快挙となります。

作品「Finger stamp」は、さまざまな形の凹凸に指を押しつけ、指の腹に凹凸をつけてから拇印となつて印する。指一本でも作れる『快』のカタチをデザインした作品です。

個人の証となる拇印を、慶事をはじめとするメッセージとして提案しているところが注目されました。

なお、このコンペについては、「デザインの現場 6月号」でも詳しく紹介されています。



▲授賞式の様子

公開特別講義を開催

6月4日（月）、神戸芸術工科大学吉武記念ホールにおいて、日本を代表するファッションデザイナー山本耀司氏による公開特別講義が開催されました。

「ものをつくるということ」と題して行われた講演には、本学学生はもちろん、業界関係者等の学外の方も多く聴講に訪れ、500人収容の同ホールにおいて立ち見が出るほどの大盛況でした。講演で同氏は、現在の日本のマーケットで若手デザイナーが育たない事由を説明し、会場の学生には、日本にとどまらず世界を舞台に活動すべきであり、そのための語学力が必要であると説かれました。また、つくるということは、“こわす”ことであり生きることであると、常に既存の概念をこわし、あらゆる面で挑戦し、新しい作品を発表し続けてきた同氏は熱く語られました。

講演後には場所をカフェに移し、学生との交流会が行われました。参加学生からの様々な質問に対し丁寧に回答され、参加した学生にとって世界的デザイナーとの交流は、貴重な経験となりました。



KDUiに情報をお寄せください

KDUiはみなさんの活動や大学の現在の様子をお知らせするツールです。こんな賞をとった。○ ○と共同で催事を行った。クラブ活動での様子など、いろいろな情報を寄せてください。

またKDUiに対するご意見、要望なども歓迎します。

KDUi学内誌用メールアドレス

kdu-i@kobe-du.ac.jp



学内情報ホームページアドレス

パソコンからのアクセス
<http://cgi.kobe-du.ac.jp/syllabus/>

携帯からのアクセス
<http://cgi.kobe-du.ac.jp/syllabus/i>



食中毒に気をつけましょう

今回の健康だよりは、学生のみなさんに身近な問題として、「食中毒予防」を取り上げます。食中毒は原因となる菌の種類により、増える時期が異なるので、季節を問わず注意が必要です。食中毒を防止する基本は「予防の三原則」です。

①清潔、②迅速、③加熱または冷却

①付けない

しっかり手を洗う…調理具・食材（洗浄可能なもの）等は、必ず調理前に洗浄し、よく乾燥させる。

②増やさない

食材は早めに使う…食品の作り置きは極力控え、調理後は早く食べる。

③やっつける

やっつける…加熱調理は、中心部までしっかり火を通す。

食中毒の症状

腹痛・下痢・発熱・嘔吐・頭痛など
（細菌の量や、その人の抵抗力によって症状に差があります）
※これらの症状は、他の病気が原因でもよく起こります。
 医療機関で受診しましょう。

医療機関に行くまでの応急手当

- 薬の内服はやめる（下痢止め、風邪薬等）
- 安静にする
- 水分補給をする（脱水症状を防ぐ）
- 熱がある時は頭を冷やす

特に一人暮らしの人は、十分注意し、万が一体調に異変があった際は早めに医療機関で診察を受けましょう。

今年の春から夏にかけては首都圏から近畿圏にかけて麻疹（はしか）が流行し、学生の発症により、休校措置をとった大学が多く見られました。

学生のみなさんも新聞やテレビ、インターネットによるニュース報道で、関心が高かったことと思います。

大学では、個々の健康管理に役立ててもらうため、本年度から4月に実施した健康診断の結果について、全学生へ診断結果をお知らせしました。

教育懇談会を開催しました

大学での生活や就学状況、進路などの状況報告や保護者等からの相談に応じる教育懇談会を、大学と教育後援会の共催で開催しました。本年度は和歌山、岡山会場の増設と、従来秋に開催していた本学会場を春季にも開催することで、昨年度より3会場の増加となり、6会場合計91組130名のご父母等が来場されました。

各会場では、大学の現況報告のあと、各学科教員との個別面談に移り、相談や現状の報告となりました。

なお、本学での教育懇談会は10月14日（日）の大学祭期間中にも行われますので、春季にお越しになれなかった方、あらためてご相談のある方のご来場をお待ちしています。保護者へのご案内は9月上旬に発送する予定です。

教育懇談会開催内容

6月 9日（土）	和歌山	わかやま館
10日（日）	神戸	本学 吉武記念ホール
16日（土）	高松	リーガホテルゼスト高松
17日（日）	岡山	岡山コンベンションセンター
23日（土）	福岡	博多エクセルホテル東急
24日（日）	広島	リーガロイヤルホテル広島



懇談会の模様 ▶▶



とっさの時にあわてないために「救急法講習会」を開催

ケガをした時や事故に遭遇した際に、すばやく対処できるよう、救急法の知識と技術を身につけることを目的に、「救急法講習会」を開催しました。この講習会は日本赤十字社兵庫支部と神戸市西消防署の協力を得て、4月28日（土）と7月10日（火）の2回行い、4月はクラブ・サークル学生と教職員を対象に28名が参加、7月開催分は「スポーツ実技」の授業の一環として48名の学生が出席して実施されました。

今回は心肺蘇生法の改正に伴う、新しい救急法を学ぶことができ、人口呼吸法、AED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生の方法について指導を受けました。

事故や災害はいつ何時起こるか分かりません。また本学では実習やラボでの作業が多いカリキュラムであるため、危険との隣り合わせの状況が多く、救急法を少しでも知っている、万が一の際に「あわてず、的確で、迅速な対応」が可能となります。

学内には本館中2階玄関に入った所にAED装置が常備されています



国際交流&留学生情報

留学生とチューターとの交流を行いました

本学では外国人留学生が学部・大学院あわせて50名が在籍しています。言葉や生活習慣の違いや、不慣れた土地での大学生活では不安がつきものです。そこで新しく入学した留学生が希望すれば日本人学生のチューターが大学生活のアドバイザーとなります。

そのチューター学生と本年度入学した留学生との交流をスムーズにすることを目的に、4月14日(土)に、神戸フルーツフラワーパークへ行きました。

留学生5名、チューター学生2名、教職員5名と、ちょっと少なめの参加でしたが、当日はお天気もよく、久しぶりにみんな童心にかえりゴーカートで遊んだり、バター作りを体験したりと楽しい時間を過ごすことができました。

お昼にはバーベキューをしながらそれぞれ会話ははずんで盛り上がりました。そんな中、日本では食事の時にはごはん茶碗は手にもって食べますが、韓国では食器を手を持って食べることは非常識とされ、何気ない会話の中から文化や習慣の違いを発見したりしました。



▲だるまさんが転んだ



▲バター作り体験



▲オリジナルカルタ大会



ウェルカミングプログラム「ランチパーティ」

本学には、留学生のホームスティやホームビジットの受け入れを希望されるご家庭に登録していただき、留学生との国際交流を図る「ウェルカミングプログラム」という制度があります。そして、年に一度そのご家庭の方々と顔合わせを兼ねて、みんなでゲームをしたり会食をしたりする場として「ランチパーティ」を開催しています。

従来は、ホームビジットを希望する留学生と、受け入れ可能なご家庭との単なる顔あわせを大学で行っていましたが3、4年前より「ランチパーティ」の場で、留学生と受け入れ家庭がそれぞれ日程を相談してもらうようになっています。

今年は6月30日(土)に登録家庭13家族27名、留学生11名、教職員12名、総勢50名という多くの方々に集まっていただき、ジャンボカルタをそれぞれ作ってカルタ大会をしました。留学生にとって日本語でカルタの文句を考えるのはちょっと難しいようでしたが、教えてもらって彼らなりに頑張ったユニークなカルタができたと思います。

そのような交流の中から、それぞれのご家庭と留学生の間でホームビジットなどの日程が確認され、夏休みに実施されます。

留学生が「国際美術工芸協会展」に出展

今年で19回目を迎える「国際美術工芸協会展」が、去る7月5～6日の両日に、ホテルオークラ神戸にて開催され、8名の留学生が、日頃の学習の成果として制作した作品、29点を出品しました。

この国際美術工芸協会展は、国際美術工芸協会が主催しているもので、作品展やチャリティバザー、講演会などが行われました。

この協会展では本学留学生の作品展示の機会を設けてもらったほか、出展した留学生の中から奨励生として4名に奨励金を授与いただくなど、種々の面で留学生に支援を行っていただいています。

このようなバックアップを通じて、留学生も新たな出会いと心のふれあいを感じたのではないのでしょうか。



▲奨励生に選出された4名の留学生

新たな交流先が増えます

現在、本学が海外の大学と交流をもっているのはイギリスのウエストミンスター大学、中国の北京理工大学、韓国の東西大学校ですが、あらたな提携先として台湾の2大学と協力協定と友好協定を結ぶことになりました。

協力協定を結ぶのは台湾の国立雲林科技大學で、教職員の交流、学生の海外留学プログラム・共同研究を含む相互の学術面や学生の交流を推進します。

また、友好交流協定を結ぶのは同じく台湾の国立臺灣藝術大學(台湾芸術大学)で、本学と同様の学部学科構成を持ち、学術研究および教育上関心を持つ分野において、各種の交流を促進します。

両大学へは10月上旬に本学から代表団が訪し、調印が行われる予定です。

開学20周年を迎えます

本学は1989年(平成元年)に芸術工学部1学部で開学し、その後、時代の要請に応じて大学院の開設、学科の改編、学部の新設を経て現在の姿になりました。

来年度(2008年度)には20周年を迎えることから、現在、周年事業の実施に向けてワーキングを立ち上げ、検討がなされています。

2008年秋には開学20周年のセレモニーや卒業生の集い「ホームカミングデー」を行う予定です。詳しいことは決まり次第、HPや本誌上にてお知らせします。

行事のお知らせ

9月

4 火	成績発表 後期履修登録ガイダンス
7 金	再試験開始
10 月	再試験終了 図書館蔵書点検(～22日)
14 金	修士論文(作品)審査報告書締切
15 土	大学院入学試験【A日程】
16 日	大学院入学試験【A日程】
17 月	敬老の日
18 火	修士論文(作品)正本・副本提出締切 博士論文正本・副本提出締切
21 金	前期卒業式【学位記授与】 入学式(大学院後期入学)
23 日	秋分の日
24 月	振替休日 夏期休業終了
25 火	後期開始 授業開始 履修申込書受付開始
26 水	予備登録締切
30 日	オープンキャンパス

※その他の行事開催や変更については、掲示やHPにてお知らせします。

10月

2 火	予備登録発表
5 金	履修申込書受付締切
8 月	体育の日
12 金	芸工祭準備・終日休講
13 土	芸工祭
14 日	芸工祭、教育懇談会(本学)
15 月	芸工祭片付・終日休講
17 水	学生授業時間割表配付
18 木	履修登録訂正受付終了
19 金	履修登録完了
22 月	図書館貴重書展③(～11/24)
24 水	博士請求論文事前発表会
29 月	図書館配架点検
31 水	博士請求論文申請締切

11月

1 木	大学院総合プロジェクト発表会 3大学国際共同研究シンポジウム
3 土	文化の日 推薦入試(前期)
4 日	推薦入試(前期)
10 土	留学生後援会旅行
17 土	芸球祭(学生フォーラム)
23 金	勤労感謝の日
26 月	図書館配架点検
28 水	Inversion作品展(～12/5) 研究科発表会(M作品) 研究科発表会(M論文)

訃報

本学園谷岡太郎総長(学校法人中京女子大学 前理事長、学校法人清陵学園学園長)が、去る5月1日に逝去されました。

故谷岡太郎総長を偲び、学校法人谷岡学園、学校法人中京女子大学及び学校法人清陵学園による合同学園葬が6月3日に執り行われました。

本学非常勤講師中本憲政先生が、去る6月18日に逝去されました。

謹んでお悔み申し上げます。

大学からのお知らせ

■学費の口座振替について(後期)

授業料等は、大学に届けを出されている銀行口座からの自動引落(振替)で、納入していただいています。後期の納入日は下記のとおりです。

後期第1回 平成19年10月20日

後期第2回 平成20年 1月20日

※10月、1月とも銀行休業日ですので、引落日(振替)は翌銀行営業日に繰り下がります。

■マナー向上にご協力ください

自転車やバイク通学の際には、単車・自転車登録をしたうえで、大学指定の駐輪場に駐輪することになっていますが、指定場所外に駐輪する者が見受けられます。特に歩道上に駐輪すると、歩道通行者の迷惑になるばかりか、道路交通法違反になります。

お互いが気持ちよく利用できるよう、指定場所に駐輪するようマナーを守ってください。

■自分探しに困った時は

毎日の生活に何か物足りなさを感じる、本当にしたいことが見つからない。悩みがあっても話し相手がない。・・・そんな時は学生相談室(カウンセリングルーム)で話をしてみませんか? 相談することによって、大きな壁だと思っていたことが、意外と乗り越えられたり、解決法が見出せたりするものです。

カウンセラーは、月・水・金の3日間常駐し、相談に乗ることができます。事前に電話(078-794-5025/内線3015)またはメール(student-counseling@kobe-du.ac.jp)で受付けています。

もちろん秘密は守ります。気軽に相談に来てください。

大学祭情報

2007年度「芸工祭」は「ものつくれ大学」をテーマに10月13日(土)～14日(日)の2日間で開催されます。

コンペティション、創作コンテスト、作品展示販売、模擬店、スポーツ企画、ステージ企画など、ものづくりの楽しさや喜びを感じてもらえる企画を実行委員会が準備しています。

教育懇談会開催!

6月の教育懇談会に続き、秋季の教育懇談会を開催いたします。

日 程: 10月14日(日)

場 所: 本 学

保護者の皆様へ

大学祭での模擬店出店

保護者等で組織される教育後援会では、役員の方を中心に、上記大学祭期間中に模擬店(毎年好評のケーキやコーヒーなどを提供)の出店があります。学生のみなさん、保護者の方のご来場をお待ちしております。

台風シーズン到来

警報等の発令に伴う休講措置については下記のとおりです

◆警報発令等

「阪神」または「播磨南東部」のいずれかに、暴風警報、大雨警報、洪水警報又は大雪警報のいずれかが発令された場合は、次のとおりに授業を取り扱うものとします。

- ・午前7時までに解除された場合: 平常どおり授業を実施
 - ・午前7時を過ぎても解除されない場合: 終日休講
 - ・午前7時から午前9時までに発令された場合: 終日休講
- ※授業時間中に発令された場合は、都度取扱い等を決定します。

◆運休等

「神戸市営地下鉄」が運休した時、または「阪急電鉄」「阪神電鉄」「JR西日本」のうち2つ以上が同時に運休となった場合は、次のとおりに授業を取り扱うものとします。

- ・午前7時までに運行が再開された場合: 平常どおり授業
 - ・午前7時を過ぎても運行が再開されない場合: 終日休講
 - ・午前7時から午前9時までに運休された場合: 終日休講
- ※授業時間中に運休された場合は、都度取扱い等を決定します。

◆その他

その他重大な災害等により授業ができない場合は、対策本部を設置し、授業の取扱い等を決定するものとします。